

本年度大会運営に関するお詫びと今後の展望について

本年の中学生学年別水泳競技県南ブロック大会において、正式なエントリーがあったにもかかわらず当方のデータの受け渡しミスのため、一部の中学校がプログラムに記載されない事態となりました。その他にも、プログラムの大会記録の誤記などもあり、プログラムの訂正箇所が多く発生してしまいました。当該中学校の選手をはじめとして保護者、顧問の先生、またその他参加者の皆様には大変なご迷惑をおかけいたしました。大変申し訳ございませんでした。

当該の中学校関係者からお叱りを受けましたが、ご批判を真摯に受け止め、再発の防止に取り組んでまいり所存です。

ミスが起こった素地として、参加申し込み締め切りからプログラム製本外注までの期間が短いこと、申込方法がグーグルフォーム、メール、FAX、郵送と多岐にわたり混乱の原因になったことがあり、いずれも、正式に中学校からのエントリーのみでなく、水泳部が無い中学校から、学校の承認を得てはいても、申込は保護者その他水泳関係者などからの場合も多く、その方々の方便を考えてということもありました。

対策として、エントリー締め切り期日を現在より余裕をもって設定し、また、申込方法も限定をすること、複数人でのプログラム編成と内容のチェック、スタートリストのホームページへの掲載などを考えております。

もう一つは、もっと根本的な問題ではありますが、当水泳協会の人員不足からプログラム編成をはじめ大会運営に大変な負担がかかっているということがあります。ほとんどの会員が仕事の合間に、あるいは仕事を犠牲にして諸作業にあたっている現状を考える時、このまま本大会を継続して運営できるかどうかという不安を抱いております。

折しも、中学学年別大会のあり方について（中央ブロック大会を含めて）、未定ではありますが主催の岩手県水泳連盟が今後の大会運営について改革をしようという話があります。もしかすると、県南ブロック大会としての開催が本年度で終了となる可能性があることも申し添えます。

本大会が、しばらくの中断後、8年前に一関で再開され今年で9回目を数えましたが、その間多くの関係者に発展的に支えられてきましたことを感謝申し上げるとともに、今後もっと良い方向に進むことができ、中学生の泳力向上に少しでもお役に立てることができるよう我々としても努力を続けていく所存でございますので、皆様のご理解とご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

一関市水泳協会会長 小野寺政好